

ぽっぽキッズ 支援プログラム

令和6年12月20日作成

支援項目	支援の目的・めあて	活動 ※一部紹介
本人支援	健康・生活	<p>*健康状態を維持・改善：基礎体力や運動能力の向上を図る。自身の健康管理が出来るようになる。 *基本的な生活スキルの獲得：生活の中で練習を繰り返したり、工程を細分化しスモールステップで取り組めるようにする。 *生活リズムや生活習慣の形成：スケジュールを可視化し、見通しをもって毎日過ごせるよう支援する。一連の動きを理解し、行動できるよう支援する。</p>
	運動・感覚	<p>*姿勢と運動、動作の向上：感覚統合、粗大運動を取り入れ全身の発達を促す。 *姿勢と運動、動作の補助的手段：個々の感覚に合った支援を行う。（足裏刺激、姿勢保持のための環境設定等） *保有する感覚の総合的な活用：感覚の統合を促進できるような活動を取り入れる。</p>
	認知・行動	<p>*認知の発達と行動の習得 *空間、時間、数などの概念形成の習得：机上課題や絵本、日々の活動の中で「大きい」「小さい」や色、数、時間等の定着を図る。 *対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得：個々の特性に配慮した環境設定を行う。</p>
	言語 コミュニケーション	<p>*言語の形成と活用：絵本や絵カード、日々の活動の中で言葉を覚え、定着を図る。 *言語の受容及び表出：他者の言葉を受けとめたり、自己の意思を表出できるような関わりを行う。 *コミュニケーションの基礎的能力の向上：他者へ自己の意思を伝える練習を行い、他者へ伝わる喜びを感じる。 *コミュニケーション手段の選択と活用：絵カードやジェスチャー等、伝えやすい形を提案し習得に向け支援する。</p>
	人間関係 社会性	<p>*他者との関わり（人間関係）の形成：職員と信頼関係を築き、安心できる環境を作る。他者との関わりを通じ、他者の存在を認識し、思いに気づけるよう支援する。 *自己の理解と行動の調整 *仲間づくりと集団への参加：集団活動への参加を促すことで、遊びや場所を共有し他者との関りに繋がるよう支援する。</p>
家族支援	活動の様子や課題として取り組んでいる事、支援内容などを共有する。また、困りごとなどがある際は面談などを行い解決に向けて連携を図る。	
移行支援 地域支援	関係機関と当事業所での様子が相互で把握できるよう、常に情報共有を行う。入学や卒業に伴う移行期には、移行がスムーズに行えるよう移行支援会議を開く。また、保護者や相談員との話し合いの中で、地域の学童保育への移行も検討していく。	
主な行事	季節行事（夏祭り・ハロウィン・クリスマス・節分） 戸外行事（みかん狩り・いちご狩り・ウォーキング大会） 老人ホーム慰問	